

作成日: 2019年06月19日

改訂日: 年 月 日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	ケミベスト®
会社名	三井化学ファイン株式会社
住所	東京都中央区日本橋室町4丁目3番18号 〒103-0022 東京建物室町ビル4階
担当部門	機能性ポリマー材料部
電話番号	03-5203-7849
FAX番号	03-5203-2231
緊急連絡電話番号	経営企画・コーポレート管理部 090-3505-4163
奨励用途及び使用上の制限	一般工業用途
整理番号	10367-M051

2. 危険有害性の要約

GHS分類

*本製品は、成形品のためGHS分類対象外。

GHS分類区分は付与されていないが取扱い時には以下の点に注意すること。

注意書き

[安全対策]

- ・使用前に取扱説明書を入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・取り扱い後は、手、顔をよく洗うこと。
- ・環境への放出を避けること。

[応急措置]

- ・飲み込んだり、吸入又は接触したか、又はばく露の懸念がある場合、気分が悪いときは医師の手当を受けること。
- ・特別処置が緊急に必要な場合は、応急処置指示(指針番号 171)を参照すること。

[廃棄]

- ・内容物/容器を廃棄する場合は、該当法規に従い、都道府県知事に許可された産業廃棄物処理業者に委託すること。
- ・使用済みの容器は、他の用途に使用しないで適正に廃棄すること。

他の危険有害性情報

- ・粉塵が発生すると、粉塵爆発の恐れがある。

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

- ・情報なし

国/地域情報

- ・15. 適用法令を参照のこと。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	ポリエチレン	ポリビニルアルコール
化学特性(化学式等)	(C ₂ H ₄) _x	(C ₂ H ₄ O) _x
CAS番号	9002-88-4	9002-89-5
濃度又は濃度範囲(含有量)	≥97%	≤3.0%

官報公示整理番号	化審法	(6)-1	(6)-682
	安衛法	既存	既存

4. 応急措置

吸入した場合	<ul style="list-style-type: none"> ・異常を感じたり、気分が悪くなった場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移動すること。 ・症状変化が現れた場合には、直ちに医師の診断/手当てを受けること。
皮膚(または髪)に付着した場合	<ul style="list-style-type: none"> ・汚染された衣服、靴などを速やかに脱ぐこと。 ・付着した製品を拭き取り、水又は微温湯で洗い流しながら石鹸を使って良く洗い落とす。 ・外観に変化が見られたり痛みがある場合は、速やかに医師の手当てを受ける。
目に入った場合	<ul style="list-style-type: none"> ・直ちに清浄な水で数分間洗浄する。 ・洗眼の際、まぶたを指で良く開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が行きわたるように洗浄する。 ・コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。 ・異物感が目に残るようであれば、速やかに眼科医の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	<ul style="list-style-type: none"> ・無理に吐かせないこと。 ・塊をのどに詰まらせた場合、取り除くのが好ましい。 ・意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。 ・口を水ですすぐ。 ・保温して速やかに医師の手当てを受ける。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ばく露の懸念があり、異常な症状が出た時は、医師の診断/手当てを受けさせること。
予想される急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候及び症状	<ul style="list-style-type: none"> ・情報なし
応急処置をする者の保護	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じた適切な保護具を着用すること。
医師に対する特別な注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・症状に応じた治療を行う。

5. 火災時の措置

引火点	> 200 °C ¹⁾
消火剤	棒状水、霧状水、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素 (CO ₂)
使ってはならない消火剤	なし
特定の消火方法	<ul style="list-style-type: none"> ・付近の発火源となるものを取り除く。 ・火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止する。 ・移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 ・消火活動は、風上から行う。 ・容器、周囲の設備などに散水して冷却する。
消火を行う者の保護	<ul style="list-style-type: none"> ・消火作業の際は、呼吸用保護具(自給式呼吸器等)などの状況に応じた保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項
保護具及び緊急時処置

- ・保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、保護長靴などの適切な保護具を着用する。
- ・漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
- ・風上から作業し、風下の人を避難させる。
- ・作業の際には保護具を着用し、この物質が皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。
- ・漏れた場所の周辺から人を退避させる。

環境に対する注意事項

- ・漏出物を直接、河川や排水施設に流してはならない。
- ・散乱した製品が河川等に流出し、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材

- ・火花を発生させない工具を使用すること。
- ・漏出したものをすくい取り、あるいは掃き集めて紙袋又はドラム缶等に回収する。
- ・少量の場合は、電気掃除機、ほうき等で掃き集める。
- ・溶解状態で漏出した時は、水等で冷却し、固化した後処理を行う。
- ・散乱したものを集めて紙袋等に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- ・「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行う。
- ・吸入、皮膚への接触を防ぎ、又、目に入らないように適切な保護具を着用する。
- ・静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- ・取扱い場所は換気を良くし、その周辺での火気、スパーク、高温物の使用は禁止する。

安全取扱い注意事項

- ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
- ・みだりに粉塵を発散させない。
- ・発散した粉塵を吸い込まないようにする。
- ・環境への放出を避ける。

接触回避

衛生対策

- ・「10. 安全性及び反応性」を参照。
- ・取り扱い後は、手、顔などを良く洗い、うがいをする。
- ・この製品の使用中は飲食や喫煙をしないこと。

保管

安全な保管条件

- ・保管場所の床は、床面に水が浸入／浸透しない構造とする。
- ・保管場所は耐火構造とし、屋根を不燃材料で作し、天井を設けない。
- ・保管場所には、必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
- ・屋内貯蔵を原則とする。
- ・乾燥した、涼しい、換気の良い場所で、包装材の封をしっかりと閉めて保管する。
- ・熱、火花、裸火のような着火源から離して保管する。
- ・法令等により規定された基準に従って保管する。
- ・混触禁止物質：強酸化剤，強酸と強アルカリ
- ・ポリオレフィン製袋及び容器

安全な容器包装材料

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：未設定

許容濃度：未設定

設備対策	<ul style="list-style-type: none"> ・取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。 ・必要に応じて、局所排気装置や全体換気装置などを設置した場所で取り扱う。
保護具	
呼吸器の保護具	・必要に応じて、防塵マスク、防毒マスク等を使用する。
手の保護具	・保護手袋を着用する。
目の保護具	・保護眼鏡、安全ゴーグル、顔面シールド等を着用する。
皮膚及び身体の保護具	・適切な保護衣、安全靴、安全帽、前掛け等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質¹⁾

外観	
物理的状态	固体
形状	繊維
色	白色
臭い	無臭
pH	非該当
融点・凝固点	131 - 137 °C
沸点	データなし
引火点	>200 °C
自然発火温度（発火点）	データなし
燃焼又は爆発範囲の上限／下限	データなし
燃焼性	加工、ハンドリングもしくはそのほかの処理の間に爆発性のダストエアミクスを構成する可能性があります。
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
密度	0.961 - 0.973 g/cm ³
かさ密度	データなし
溶解性	水：不溶 溶媒：データなし
オクタノール／水分分配係数	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	・通常の取扱い条件においては安定。
危険有害反応可能性	・粉塵および（粉末の場合）成形・加工時等に発生する低分子量物質は、静電気等により着火・爆発を引き起こす可能性がある。
避けるべき条件	・高温
混触危険物質	・強酸化剤、強酸と強アルカリ
危険有害な分解生成物	・有機酸

11. 有害性情報

急性毒性	データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	データなし
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし
その他の情報	特記情報なし

1 2. 環境影響情報

水性環境有害性(急性)	データなし
水性環境有害性(長期間)	データなし
土壌中への移動性	データなし
オゾン層への有害性	モントリオール議定書の付属書に記載された規制物質を含まない。

1 3. 廃棄上の注意

- | | |
|-----------------------------|---|
| <p>残余廃棄物</p> <p>汚染容器・包装</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従う。 ・都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方自治体が行っている場合にはそこに委託して処理する。 ・廃棄物の処理を委託する場合、処理業者に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。 ・空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。 ・使用済みの容器は、他の用途に使用しないで適正に廃棄する。 |
|-----------------------------|---|

1 4. 輸送上の注意

国際規制

国連定義の危険物に該当しない。

海洋汚染物質 (Marine pollutant) : 非該当

ばら積み輸送される液体物質 (IBC コード) : 非該当

国内規制

航空輸送：特記する規制なし

海上輸送：特記する規制なし

港則法 : 特記する規制なし

陸上輸送：特記する規制なし

- | | |
|--|--|
| <p>輸送の特定の安全対策及び条件</p> <p>緊急時応急措置指針番号</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。 ・直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。 ・法規に規定された基準に従って輸送する。 ・火気注意 <p>171</p> |
|--|--|

1 5. 適用法令

- | | |
|---|---|
| <p>労働安全衛生法：</p> <p>毒物及び劇物取締法：</p> <p>化学物質排出把握管理促進法：</p> <p>消防法：</p> <p>外国為替及び外国貿易法：</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・特化則：非該当 ・有機則：非該当 ・非該当 ・非該当 ・指定可燃物 合成樹脂類 その他のもの (3,000 kg) ・輸出貿易管理令別表第1の16の項 |
|---|---|

1 6. その他の情報

引用文献

- 1) 自社データ

記載内容の問い合わせ先	会社名	三井化学ファイン株式会社
	住所	東京都中央区日本橋室町4丁目3番18号 〒103-0022 東京建物室町ビル4階
	担当部門	レスポンシブル・ケア部
	電話番号	03-5203-7283
	FAX番号	03-5203-2231

記載内容の取扱い

本安全データシートは、当社の持つ知見をもとに JIS Z 7252(2014)に準拠して GHS 分類を行い、JIS Z 7253(2012)に従って、十分注意を払って作成しております。

しかしながら、この記載内容は通常の使用状態におけるものであり、特殊な条件下での安全性・引用文献の内容・全ての生態影響の網羅を保証するものではありません。
新たな情報の入手、新しい知見の発表や従来の説の訂正により、本安全データシートは追加又は訂正されることがあります。

また、本安全データシートは含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

使用におかれましては、適用法令をご確認の上、法令に従うと共に、この安全データシートを参考に、貴社の使用条件に即した取扱い上の注意を検討確立し、安全に使用していただきますようお願い申し上げます。

以上